



活動事例 84

ディ!



奄美市名瀬の末広市場内にある「末広市場ディ!放送所」。魚や乾物を買いくる人々が気軽に出演していく。

団体の紹介 *introduction*

広く奄美人と奄美を愛する人々の理解・協力のもと、奄美大島及び奄美人が有する地理的・文化的な素材・素質の価値を、奄美人自身が再認識し、結いの精神のもとに、さらなる奄美の価値を創造するとともに、次世代へ向け“魅力ある奄美”を伝え、発展的な“奄美らしさ”のバトンタッチを行うことを目的としています。なお、「ディ!」は奄美大島のことばで「さあ、~しよう!」何か次の行動を促す、かけ声です。発音はdeiではなくてdiです。



メッセージ
Message

「島に島を伝える!」をテーマに放送や各イベントを通して、島とシマツチュの魅力・価値観を再認識できればと活動しています。地に足をつけた地域活動・経済活動を常に考えながら、私たちの暮らす島とは?そのアイデンティティ形成に努めています。

※シマツチュ:島の人(島の言葉でチュは人を指す)

(あまみエフエム・ディ!ウェイヴ)

主な活動内容 *action*

1 ラジオ放送

シマの日常や文化・歴史・音楽をシマの人に知ってもらうための番組をボランティアの方の協力のもと制作し、日々放送しており、非常時には防災放送を行っています。また、サテライトスタジオは古くからある市場の中にあり、駄菓子屋を併設しており、島の人とふれあいながら毎日の放送を行っています。(放送はインターネットで聴くことも可能です。)

2 島興しイベント

島を活性化するためのイベントを主催、または参加しています。



◀ 紬の日
毎年1月5日に、「島の人がもつと紬を着よう」と奄美市が開催している紬の日のイベントでは、特設ブースを開設しています。



小ナンコ大会▶
薩摩からの流れをくむナンコ。奄美でも広く行われていますが、ナンコ文化を次世代にも繋ぐべく子供にも使いやすい小さいナンコを製作し、レクチャーをかねた大会を開催しています。



◀ 中高年向け8人制サッカー大会
中高年が集まりやすく続けやすい、8人でのサッカー大会を開催しています。



夜ネヤ・島ンチュ・リスベクチュ▶
島の文化や芸能を知り、敬意をもって守っていくというイベント。島の唄者らとともに元ちとせさんや中孝介さん等が出演しています。



奄美大島
加計呂麻島
与路島
請島



 アクセス *access*

- 奄美空港から車で約1時間
- 名瀬港から車で約3分

特定非営利活動法人 デイ!(あまみエフエム・ディ!ウェイヴ)

代表者/ 麓憲吾
所在地/ 〒894-0031 奄美市名瀬金久町4-3-2F
連絡先/ TEL:0997-57-6366
E-mail/ info@npo-d.org
ホームページ <http://www.npo-d.org>

- 受賞歴
- 平成20年 あましん地域貢献賞(奄美大島信用金庫)
 - 平成22年 第43回MBC賞(株式会社南日本放送)
 - 〃 職業奉仕賞(奄美中央ロータリークラブ)
 - 平成23年 第20回中央非常通信協議会表彰(総務省 中央非常通信協議会)
 - 〃 平成23年度土砂災害防止功労者表彰(国土交通省)
 - 〃 あまみ地域づくり褒賞(大島支庁)
 - 〃 第62回南日本文化賞(南日本新聞社)など



活動事例 85

あさ あまみ
ASA奄美スポーツアカデミー

幼稚園や小学校に講師を派遣し、運動能力の向上に取り組んでいます。

団体の紹介 *introduction*

譲れない魂がある「限りなき夢への挑戦と前進」を永遠のテーマに掲げ、奄美に住む子どもたちをはじめ多くの市民に対して、スポーツに関わる環境の整備と支援、及びスポーツ文化振興、技術力・指導力の向上を図る活動を行っています。



ASAコミュニティクラブは市民に親しまれる、様々な教室を行っています。

主な活動内容 *action*

1 スポーツ振興事業

総合型地域スポーツクラブ「ASAコミュニティクラブ」運営や各種スポーツイベントの企画。平成24年度から「次期鹿兒島国体」に向けた取り組みとして、子どもの運動能力向上対策であるコーディネーショントレーニング教室を幅広く展開しています。

2 学童保育

奄美小学校の学童保育「奄小学童クラブ」の運営管理を行い、スポーツ教室、奄美の伝統文化の継承のために舟こぎ指導等を実施しています。

3 スポーツエコ活動の推進

スポーツ&エコ宣言「ASA4奄美」のもと、スポーツ競技者や市民からの協力賛同を得て、スポーツ環境保全活動を展開しています。具体的な活動の第1弾として、ペットボトルのキャップを回収し、ワクチンを寄付する活動に取り組んでいます。

4 公共施設の運営・管理事業

奄美体験交流館などの指定管理者の指定を受けています。

メッセージ
Message

スポーツ活動を通じ、地域の活性化によって誰もが誇れる郷土づくりと青少年の健全育成に寄与することを目的として活動しています。

特定非営利活動法人 ASA奄美スポーツアカデミー

代表者／園田明
所在地／〒894-0046 奄美市名瀬小宿2878-1
連絡先／TEL:0997-54-8687
Email / asa-060818@po3.synapse.ne.jp
ホームページ <http://www.amami-sa.com>

「ゆずり葉の郷」

団体の紹介 *introduction*

不登校、ひきこもり、非行、ニートなどの悩みを抱え、地域社会や学校生活になじみにくい青少年たちの居場所づくりを支援しています。



月に1度の清掃活動の様子です。関係機関や、退所後の子供たちも率先して奄美を美しくするために頑張っています。



合気拳法を通して「自立と共生」へ導いています。

主な活動内容 *action*

1 地域若者サポートステーション事業

奄美若者サポートステーションでは、不登校、ニート、ひきこもりの児童・生徒や若者に対して、復学支



援や就業支援を行っています。

釣りや、カヌー、海水浴などそれぞれに有意義な時間を過ごし、自然にふれあいながら様々なことを学び、楽しめます。

2 青少年支援拡充のための研究事業

青少年支援における訪問支援に関する研究と開発プログラムの構築、ネットワークの整備を行い、効果的に支援を行うことが出来る人材を育成しています。

3 自立援助ホーム さざ波の家・奄美

生活や就職活動の援助を受けながら、共同生活を行い、就職、自立に向けての準備を支援しています。



家庭的な雰囲気の自立援助ホーム「さざ波の家・奄美」

メッセージ
Message

昭和59年に、問題を抱え、悩みを持つ青少年を武道(合気拳法)を通して支援する活動を始め、平成13年にNPO法人「ゆずり葉の郷」を立ち上げ、平成25年度には創立30周年を迎えます。現在15名の青少年が共同生活を送り、スタッフの指導のもと、自立を目指しています。

特定非営利活動法人 奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」

代表者／前田勝美
所在地／〒894-0036 奄美市名瀬長浜町23-25
連絡先／TEL:0997-56-8202
Email／yuzuriha@gamma.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.8.ocn.ne.jp/~yuzuriha/

■受賞歴など
平成20年 内閣府 少子化大臣功労賞
〃 社会貢献支援財団 社会功績賞
平成21年 更正保護功労顕彰 法務大臣感謝状



専門的な知識を持つスタッフが保護者から相談を受け、関係団体等と連携して支援を行っています。

団体の紹介 *introduction*

障がい児・者に対して、相談支援を実施しながら、ネットワークを充実することで、障がい者が幸せに生活できる地域社会をつくることを目的としている団体です。



「あしたば太鼓」
青年期余暇活動として、月一回のペースで練習を実施、地域の行事等に招待され、舞台発表を行っています。

主な活動内容 *action*

1 障がい者に対する相談支援事業

障がい児・者に対して、日常的に相談を受け支援しています。また、専門機関と連携して発達療育相談や子どもの眼科相談、保育所・幼稚園・学校への支援も行っていきます。

2 早期発見、早期療育等の療育システムに関わるネットワーク構築

奄美地区自立支援協議会のこども部会の事務局として、地域の療育システムの構築とネットワークの充実に努めています。また、研修会の開催をはじめ、地域の療育に関する質の向上を図っています。

3 障がい者及びその家族等関係者、地域住民の交流

就学児や思春期の親子の集い、療育キャンプ、余暇活動としてあしたば太鼓、学童の夏休み・冬休みの活動などを行っています。

メッセージ Message

前身の奄美療育研究会に引き続き約20年活動してきました。今後も地域の障がい者と共に歩んでいきたいと思っております。

特定非営利活動法人 チャレンジドサポート奄美

代表者／向井扶美
所在地／〒894-0006 奄美市名瀬小浜町24番8号
連絡先／TEL:0997-53-1651
Email／csa@khh.biglobe.ne.jp

■受賞歴など

平成17年 名瀬市民希望賞
平成18年 鹿児島県母子保健功労賞
厚生労働大臣母子保健功労賞



宇検村民の協力により、独自の番組の制作をしています。

団体の紹介 *introduction*

より住みやすい地域づくりや、伝統的な文化伝承を目的に、宇検村民が全員出演するコミュニティラジオを目指しています。



中学生が職場体験の中で、自分たちの番組を作りました。

主な活動内容 *action*

1 防災情報(災害・防災情報, 気象情報, 道路交通情報)

災害時は、長引く停電や通行止め等により満足に情報が得られない中、村独自の情報をリアルタイムに提供し、地域住民に安心をラジオにより届けています。

2 地域情報(催事案内・施設利用案内)

イベント等の情報提供や村の話題を取り上げ、村民がラジオを通じて交流を高められる番組制作に励んでいます。平成23年度は、全国大会で準優勝した田検・久志中学校の男子バレーボール部の結果速報を取りあげ、地域を盛りあげました。

3 文化継承(島唄・方言等)

宇検村には守り伝えたい伝統的な文化が数多く残されています。番組の中で取り上げることにより、次世代にシマの魅力を伝えることを大事にしています。

メッセージ
Message

平成22年1月に開局し、その後、数々の災害が起こり、村民にラジオの必要性を認識・理解していただきました。これからも村民と密着した内容を届けていきたいと思っています。

特定非営利活動法人 エフエムうけん

代表者／屋宮喜治
所在地／〒894-3301 大島郡宇検村湯湾9-1
連絡先／TEL&FAX:0997-67-2322
Email／763@fmuken.org
ホームページ <http://fmuken763.amamin.jp/>

■受賞歴など
平成22年度 第20回中央非常通信協議会表彰
(総務省 中央非常通信協議会)



活動事例 89

あまみ おおしま しぜん たいけん がっ こう
奄美大島自然体験学校

瀬戸内町加計呂麻島のキャンプでは、大自然を満喫しました。

団体の紹介 *introduction*

自然体験や文化的事業を通して、島内外問わず、奄美大島の豊かな自然・文化に触れあう活動を促進させ、健康的な人間関係をより多くの人たちが築けるよう活動しています。



奄美大島に到着すると島の人たちの温かい歓迎が待っていました。

主な活動内容 *action*

1 奄美大島の自然体験学校

平成24年度は、瀬戸内町の子ども達と東日本大震災によって被災した福島県南相馬市の子ども達が、夏休み7泊8日を一緒に過ごしました。

魚釣り、板付き舟海峡横断チャレンジ、かんからサンシン作り、戦跡地見学などを地域住民の協力のもとに、体験しました。島の大きな自然と文化や伝統に触れながら、好奇心や自立心をかき立てられ、子ども同士の絆も深まったようです。

なお、瀬戸内町と南相馬市は作家島尾敏雄氏にゆかりがある地域ということで、友好都市盟約を結んでいます。



最終日は板付き舟による大島海峡横断にチャレンジしました。子ども達の息も合い、難なくゴールしました。

メッセージ
Message

奄美大島で今も大切にされている人と人との繋がりを尊重し、活動に際してもその人間関係をお手本とし、多くの人達に認知してもらえるよう努力することで、青少年の健全育成と社会全体の利益の増進に寄与することを目指します。

特定非営利活動法人 奄美大島自然体験学校

代表者／房俊介
所在地／〒894-1508 大島郡瀬戸内町古仁屋松江5-9
連絡先／TEL:0997-72-4050, 090-7985-7617
Email / shunsuke__@hotmail.co.jp
ホームページ <http://www.amami-island.jp/>



今でも残るサンゴの石垣を集落のモノ知りガイドが案内しています。(阿伝コース)

団体の紹介 *introduction*

先人の思いを次世代に手渡すことと、もてなしの心で交流の輪を広げていくことを目的とした、地域住民によるシマ歩きガイドのボランティア団体です。



シマ歩きだけでなく、紙すきの体験ができるコースもあります。

主な活動内容 *action*

1 シマ歩きガイド

自然豊かで見所いっぱいである町内の6集落に案内コースを設け、島内外の多くの方を受け入れ、地域住民である会員がシマ歩きの案内をしています。また、会員のスキルアップとして、島外研修や情報収集に積極的に取り組み、受入体制の充実を図っています。

2 喜界島シマ歩きマップの作成



平成21年からの3年間で、560名の方にガイドを利用して頂きました。更なる利用者へのサービス向上と利用拡大にむけ、平成23年度に関係団体の協力のもと、ガイドマップを作成しました。

3 あまみシマ博覧会への参加

奄美群島の各地で様々な体験交流のプログラムを取り揃えて、年2回開催されている「あまみシマ博覧会」への参加や子ども向けのコース案内等、島内外の交流人口拡大に向け活動をしています。

メッセージ Message

島の人口減少、限界集落という言葉が現実味を帯びている昨今、地域の魅力を最大限に活用し、地域活性化に結びつけたいと思っています。これからも島内外の方々に「シマ(集落)をよんよ〜り(ゆつくり)歩く」ことの楽しさを伝え、シマをつなぐ一助となるよう活動していきます。

よんよ〜り喜界島

代表者／政井平進
所在地／〒891-6201 大島郡喜界町赤連2969-3
連絡先／TEL:0997-65-1202(喜界島観光物産協会)
ホームページ <http://www.kikaijima-kankou.com/simaaruki.php>
(喜界島観光物産協会)

■受賞歴など
平成23年度 あまみ地域づくり褒賞(大島支庁)

活動事例 91

おや こ いえ
親子ネットワークがじゅまるの家

プール遊び(われんきゃ広場)

団体の紹介 *introduction*

地域の子育てに関心のある個人や団体と連携し、妊婦・乳幼児とその親・児童に対して、妊婦相談、子育て支援、子どもの健全育成活動を行うことにより、親子の健やかな成長、安心して妊娠・出産・子育てができる町づくりに寄与することを目的としています。



リズム遊び(われんきゃ広場)

主な活動内容 *action*

1 われんきゃ広場(親子のつどいの広場)の運営

われんきゃ広場ブログ

<http://gajyumarunoie.blog.ocn.ne.jp/>

火、木、金10時～15時に広場を開催し、未就学児の親子のための常設遊び場を運営しています。子育て経験のあるスタッフが常駐しています。

毎月、リズム遊び、英語、工作、誕生会などイベントを行っています。

2 助産院「ねんねぐわせ」

産後訪問、乳房ケア、育児相談を行っています。

3 妊娠・出産・子育てに関する相談・啓発活動

・がじゅまるネット<https://gajyumaru-net.jp/>

・がじゅまる通信(子育て情報誌)

年4回発行しています。

4 一時預かり事業

われんきゃ広場開放時間内に広場にて、親のリフレッシュを目的に実施しています。また、プレ幼稚園も実施しています。

メッセージ
Message

私たちの住む徳之島は、子宝の島です。地域で子どもを見守っていく、人と人がつながっている社会、自然に恵まれて、危険が少ない、安心して子育てができるなど徳之島は恵まれていると思います。この環境を残すため、ネットワークの構築が必要です。誰でも子育てがしやすい島になるように、島から中央に発信できる!元気パワーで日本を明るくしていきましょう!

特定非営利活動法人 親子ネットワークがじゅまるの家

代表者/野中涼子

所在地/〒891-7101 大島郡徳之島町亀津2884-1徳之島町合同会館内(活動拠点)

連絡先/TEL:0997-82-0660

Email / daihyo@gajyumaru-net.jp

ホームページ <https://gajyumaru-net.jp/> ブログ <http://gajyumarunoie.amamin.jp/>

■受賞歴など

平成21年 第3回「よみうり子育て応援団大賞」選考委員特別賞



親子夏休みの自由研究(岩石採集、植物採集)

団体の紹介 *introduction*

島民、主に子ども達に対して島の宝の魅力と知識の普及を図り、地域社会の健全な発展および生活と文化の向上に寄与することを目的とし、平成23年に設立しました。



海岸漂流ゴミ清掃

主な活動内容 *action*

1 稲作体験

徳之島には水田がなく、稲作を知らない世代となったため、高齢者や親・子供達と「田植えから食べるまで」の稲作体験を行いました。



地域交流、食育「稲作体験」

2 いのちつながる徳之島 写真展

貴重で多様な動植物があることを多くの島民に知っていただくために、徳之島の生物多様性を見る自然写真展を3町で開催しました。



写真展

3 講演会等の開催

島外から専門家を招き、学校や地域において環境学習会・食育講演会・出前授業などを開催しました。



徳之島の自然を知ろう講演会

メッセージ Message

虹の会の「ニジ」には、島の方言で「仲間」という意味と、「架け橋または繋ぐ」という二つの意味が込められています。島の仲間が繋がって、徳之島の素晴らしさを子ども達へ、未来へ、世界へ、伝える活動を行っています。

特定非営利活動法人 徳之島虹の会

代表者／松田清蔵
所在地／〒891-8201 大島郡伊仙町伊仙2330番地2
連絡先／TEL:0997-86-4893
Email／kanri@shimaniji.net
ホームページ <http://www.shimaniji.net/>

■受賞歴など

徳之島の生物多様性を広く知っていただき、自然や文化を後世に伝えていくために、平成25年度には「徳之島・自然遺産図鑑(仮称)」の発刊を計画しています。

活動事例 93

おきえらぶとうしょくいく
沖永良部島食育サポートあぐヘルシー

知名町・食の文化祭

団体の紹介 introduction

この法人は、沖永良部島に根ざした食文化の継承と生活習慣病の予防と改善策の各種研修、地産地消など食を通した健康づくりに関する普及啓発活動を実施することにより、健康・長寿のまちづくりに寄与することを目的としている団体です。



知名町の家庭の味が集合。参加者は興味津々。

主な活動内容 action

1 食育の普及啓発事業

食の文化祭は、知名町・JAあまみ知名事業本部と共催し、40団体以上と協働で実施しています。

2 生活習慣病の予防と改善策事業

食育アドバイザー養成講座を開催し、食育アドバイザー認定証の交付をしています。

3 食文化の継承事業と情報提供・講演事業

郷土食の研修・伝承、健康自然食料理教室と講演をしています。

4 健康長寿食メニューの開発

地産地消メニューの開発をしています。

5 子ども農業体験事業



箸づかい豆つかみ競争



食に対するクイズコーナー

メッセージ
Message

食べ物が豊かになり、飽食、美食の時代になりましたが、医療費とガンを含む生活習慣病は年々増加の一途をたどり、本町でも大きな解決策が見出せないままになっており、最重要課題の一つだと考えられます。人間の命の源は食なので、食生活改善で真の健康をめざすために食育アドバイザー養成講座を開催し、『一家に一人食医』を養成、人材育成をすることにより町民への食育に対する意識向上や普及啓発活動を広く展開し、健康長寿のまちづくりに努めます。

特定非営利活動法人 沖永良部島食育サポートあぐヘルシー

代表者／大山キヌ子
所在地／〒891-9232 大島郡知名町大字新城1745-3
連絡先／TEL:0997-93-5307

活動事例 94

かわ うち しゅう らく 川内集落



桜並木・フナンギョの滝ウォーキング

団体の紹介 *introduction*

川内集落内の各種団体が連携して、イベントの開催、伝統行事や文化の伝承活動を行っています。



奄美の自然が残る山道を歩いて行くと、「フナンギョの滝」があります。

主な活動内容 *action*

1 桜並木・フナンギョの滝ウォーキング

集落にある奄美市の「1集落1ブランド」に認定されたフナンギョ滝の景観を活用し、桜の咲く時期にウォーキング大会を実施しています。集落外からも大勢の人が参加し、交流を図っています。

川内集落

代表者／山田紘一
所在地／〒894-1115 奄美市住用町川内

2 地元文化の伝承活動

八月踊りや島唄、集落の伝統芸能「スティルクテン」の伝承活動を行っており、地域行事やイベント等で発表しています。



伝統芸能スティルクテン

活動事例 95

おお だな むすび かい 大棚結の会



お総菜づくりグループで作っています

団体の紹介 *introduction*

「住み慣れた大和村で安心して自分らしく豊かに暮らせる」地域づくりを目指し、お互いの助け合いを大切に感じている有志住民がグループをつくり、集落やご近所での支え合い活動を行っています。

主な活動内容 *action*

1 おかずの提供

集落の高齢者等が作った野菜などを使って、100円おかずを週2回提供しています。日頃から集落民が買い物に集まる大棚商店(集落民が出資した株式商店)を提供場所としているので、情報交換や安否確認、交流の場としても役立っています。

2 困りごと対応

高齢者宅の草木の剪定など、日常のちょっとした困りごとに対する活動を行っています。

3 サロン活動

集落公民館で週1回、サロンを行っています。日頃老人クラブ等に参加されない認知症の方や閉じこもりぎみの方などが気軽に参加しています。

大棚結の会

代表者／川下八重子
所在地／〒894-3106 大和村大棚
ブログ <http://musubinokai.blog.fc2.com/>



豊作の感謝と祈願のために行われるショチョガマ

秋名・幾里集落

代表者／秋名区長 隈元範久／幾里区長 廣島敬久
所在地／〒894-0332 大島郡龍郷町幾里421番地1
秋名コミュニティセンター

団体の紹介 *introduction*

秋名・幾里集落は、大島本島でも指折りの面積を誇る水田があり、稲作やタイモ・マコモの栽培が行われています。旧暦8月最初の丙（ひのえ）の日に行われる祭事「平瀬マンカイ・ショチョガマ」は、国の重要無形文化財に指定されています。

主な活動内容 *action*

1 平瀬マンカイ・ショチョガマの伝承

貴重な文化を受け継ぎ、次の世代へとつなげるように活発に活動しています。

2 泥んこバレーボール大会の開催

水田を利用し、泥んこバレーボール大会を実施しており、新たな行事として地区内外から多数の参加があります。

3 青壮年団による桜並木の定期的清掃活動

地域への愛着心が強く、景観の維持を図るため行われています。



超満員で行われた松原闘牛場のこけら落とし大会

松原西区集落

代表者／宮口幸典
所在地／〒891-7602 大島郡天城町松原
連絡先／TEL:0997-85-4967

団体の紹介 *introduction*

松原西区集落は、世帯数253戸、人口670人で昭和初期まで松原銅山があり、賑わった集落です。

主な活動内容 *action*

1 地域文化の継承

徳之島で500年以上の歴史があると言われる闘牛の継承・発展のため、松原闘牛場を青年団・集落民のボランティアで5ヶ月かけて完成させました。

2 環境整備

女性団体、子供会、老人会等が花壇整備を行い、地域美化、環境保全に熱心に取り組んでいます。

3 集落市場の開催

集落内外の農林漁業者による「マチャラ市」を開催しています。

※マチャラ：島の言葉で松原西区集落を指す。



活動事例 98

木の香集落



高齢者の指導のもとに行われる田植え

木の香集落

代表者／川本博光
所在地／〒891-8201 大島郡伊仙町伊仙

団体の紹介 introduction

伝統行事の継承を通して青少年の健全育成に地域ぐるみで取り組み、地域の絆を大切にして活力ある集落を目指しています。

主な活動内容 action

1 地域の伝統芸能の伝承活動

豊作祈願である「むちたぼれ」の伝承活動は、稲作から豊年祭りまでを一環して実施しており、集落の高齢者が講師となり、子ども達を指導するなど異年齢交流も深めています。



集落での田植えをみんな楽しみにしています。



伝統行事である「むちたぼれ」

活動事例 99

後蘭孫八の城跡整備委員会



見学者のために入口に案内板を設置しています。

後蘭孫八の城跡整備委員会

代表者／平健次郎
所在地／〒891-9132 大島郡和泊町後蘭95-1
連絡先／TEL:0997-84-3512(和泊町役場企画課)

団体の紹介 introduction

後蘭集落民の共通の宝「後蘭孫八の城跡」をみんなの手で甦らせるため、整備委員会を立ち上げ、雑木の伐採等整備を進めています。

主な活動内容 action

1 遊歩道整備

長い間手つかずであった城跡の雑木を伐採等行い、散策できるよう定期的に整備作業を行っています。

2 城跡の魅力を情報発信

城跡をスムーズに散策できるよう案内図やパンフレットの作成等を行い、見学者の受入体制を整えています。



◀天までとどくほどの大きな木や自然石を利用した砦等があり、定期的に整備を実施しています。



活動事例 100

 ちゃばなじちこうみんかん
 茶花自治公民館


緑化推進員が手入れしているヤシの並木(与論空港付近)

茶花自治公民館

代表者／南仁孝
 所在地／〒891-9301 大島郡与論町大字茶花2353-3
 連絡先／TEL:0997-97-3111
 (与論町役場総務企画課内)

団体の紹介 introduction

茶花集落の自治活動を促進し、郷土の発展に寄与することを目的としている団体です。

主な活動内容 action

1 緑化・美化活動の実施

与論島の魅力アップのため、緑化推進員が中心となり、恒常的な沿道美化に取り組んでおり、花と緑の島づくり活動の町全域への拡大を目指しています。



空港滑走路脇の東屋での雑草除去作業

2 海拔表示板の設置や防災マップを配布

平成18年度にいち早く海拔表示板を茶花集落内に設置し、主要施設20箇所に防災マップを掲示するなど、自主防災活動にも力をいれています。



茶花小学校にも防災マップを掲示



市町村協働の仕組みづくり促進事業

県では、共生・協働の地域社会づくりの推進を図るため、自治会やNPO等の取組を支援する市町村に対して助成しました。(P116参照)

垂水市

- ◎地区公民館の振興計画の策定及びそれに基づく事業を地域が連携して実施
- ◎鹿児島大学公開講座を活用した市全体の「共生・協働の仕組みづくり」の理解促進

いちき串木野市

- ◎市民がまちづくりに積極的に取り組む共生・協働のまちづくりを進めるため、地区ごとに地区内の様々な団体が構成するまちづくり協議会の設立を支援
- ◎共生・協働のまちづくりのための啓発・気運醸成

始良市

- ◎地域コミュニティの将来像やその実現に向けた取組の基本的な仕組みづくりとその方向性を示す市のコミュニティビジョンを策定するため、市とNPOが協働で、地域の状況に合わせて、ワークショップ、アンケート、ヒアリングを実施



伊佐市でのワークショップの様子

十島村

- ◎IUT(イーター)者が島に定着するための相談窓口の一元化
- ◎村、NPO法人、各島プロジェクトチームの協働でビジネスプランを策定

日置市

- ◎過疎・高齢化が深刻化している2モデル地区において、地域の新たな仕組みづくりを目指し、NPO等と協働で地区民のヒアリングや地域資源調査、ワークショップなどを実施

伊佐市

- ◎市とNPOが協働で、校区ごとにワークショップ(まちづくり会議)を行い、校区の振興計画書を策定
- ◎校区振興計画書に基づく事業展開、校区拠点づくりの推進

肝付町

- ◎地域の様々な団体の協力のもと、地元NPO法人が開発した生ごみ処理機を活用した実験調査を行うことによる、生ごみの減量化・資源化、地域の連携強化

県との協働事業（NPO 提案型共生・協働推進モデル事業）

本県では、共生・協働の地域社会づくりを推進するため、県事業の協働化を推進しています。平成24年度は、地域の課題解決に向けた取組を、NPO等からの企画提案に基づき、より効果的・効率的な手法により県との協働事業として実施する「NPO提案型共生・協働推進モデル事業」（5事業）に取り組みました。

モデル事業①

事業名 ラジオを活用した住民発案型地域資源活用企画推進事業

事業主体 離島振興課
一般社団法人鹿児島天文館総合研究所 Ten-Lab



島の食卓展の様子

事業概要 地域資源を活用する住民の支援

1 地域の合意形成支援

- ①住民参加の地域資源活用会議の設置（種子島、甌島）
- ②サポートチームの結成

鹿児島市に組織し、各分野のプロがそのノウハウやスキルを生かし支援

2 事業化支援

- ①ラジオ、インターネットの活用
- ②販促イベント（島の食卓展など）の開催

モデル事業②

事業名 分譲マンション管理適正化推進事業

事業主体 住宅政策室
NPO 法人鹿児島県マンション管理組合連合会



セミナーの様子

事業概要 集合住宅の課題の明確化

1 マンション管理組合に対する実態調査

- ①アンケート、訪問調査
修繕積立金の状況、防災意識の程度など管理の実状や課題を抽出
- ②専門家による分析、解決方策等のまとめ

2 分析結果の活用

- 管理、防災、コミュニティ形成の必要性の普及啓発
- ①管理組合への情報提供
 - ②セミナーの実施

モデル事業③

事業名 霧島バリアフリー観光サイト作成事業

事業主体 始良・伊佐地域振興局 総務企画課
NPO 法人チャレンジド就労支援ネットワーク e ワーカーズ鹿児島

事業概要 **障がい者、高齢者が安心して観光できる環境の整備**

1 きめ細かな情報の提供

- ①霧島市と始良市の宿泊施設や観光施設等のバリアフリー状況の調査
- ②「かごしまバリアフリー観光 霧島・始良」サイトの構築
- ③専任職員による旅行相談窓口の設置

2 バリアフリー観光における受入体制の充実

- ①バリアフリー観光講演会・勉強会の開催
- ②モニターツアーの実施



バリアフリー観光勉強会の様子

モデル事業④

事業名 バイオ資材活用による障害者雇用創出モデル実証実験事業

事業主体 大隅地域振興局 総務企画課
NPO 法人愛・あいネット

事業概要 **竹を活用したプラントの普及**

1 竹活用循環モデルの構築

- ①竹林整備等から生じる不要竹のチップパウダー化
- ②①を生ゴミ処理やバイオトイレに活用
- ③①を利用して燃料化し、ビニールハウスの暖房用として活用

2 実証実験の実施

試作機の製作・設置及び効果の検証



ビニールハウスでの実証実験

モデル事業⑤

事業名 「大隅スポーツグランプリ」による大隅地域活性化推進事業

事業主体 大隅地域振興局 総務企画課
NPO 法人鹿児島 21 世紀スポーツクラブ

事業概要 **スポーツ交流による大隅の活性化**

1 イベント開催による活性化

- ①スポーツグランプリの開催
- ②大隅名所・スポーツ施設見学会、情報交換会の開催

2 大隅をアピールするための連携

- ①大隅地域スポーツ合宿推進市・町との連携
- ②鹿屋体育大学、鹿児島大学との連携
- ③県大阪事務所、関西県人会との連携
- ④地元商工会議所や民間企業との連携



スポーツグランプリの開催地の1つである大隅アリーナ